

ばばだげ!
JTサンダーズ広島



久原 大輝

VC長野との開幕2連戦は、「失セツト0」でスタートすることができた。開幕戦のスターティングメンバーは小野寺太志主将や、新加入のラッセル、江川の両外国人選手が名を連ねる中、セッターとしてルーキーの阿部大樹選手がV



開幕スタメンを勝ち取った

阿部選手⑳ (10月23日)

● 新人阿部 今後にも精進を

リーグデビューを果たした。

内定選手として1月からチームに帯同していたが、昨シーズンの出場機会はなし。夏場からは、膝のリハビリに励む金子聖輝選手に代わって、メインでトスを上げる機会が増えた。金子選手が実戦復帰後は合田心平選手らとの競争を勝ち抜き、開幕スタメンの座をつかんだ。

スタメンを勝ち取った阿部選手に満足しているそぶりは全くない。実際、開幕2戦ともに、セツト途中から合田選手がリリーフセッターという形でトスを上げていく。1ゲーム、1セットを長い目で見て、ゲームを組み立てるのがセッターの醍醐味であり、途中交代を命じられることは本人にとつて相当悔しいことだ。

ここから先は、ルーキーとして未知のリーグ戦が続く。失敗も成功も全てを糧にし、セッターとして選手とスタッフからさらに信頼を得られるよう、精進してほしい。

(JT広島マネジャー)